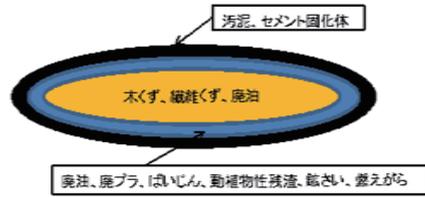


技術情報シート

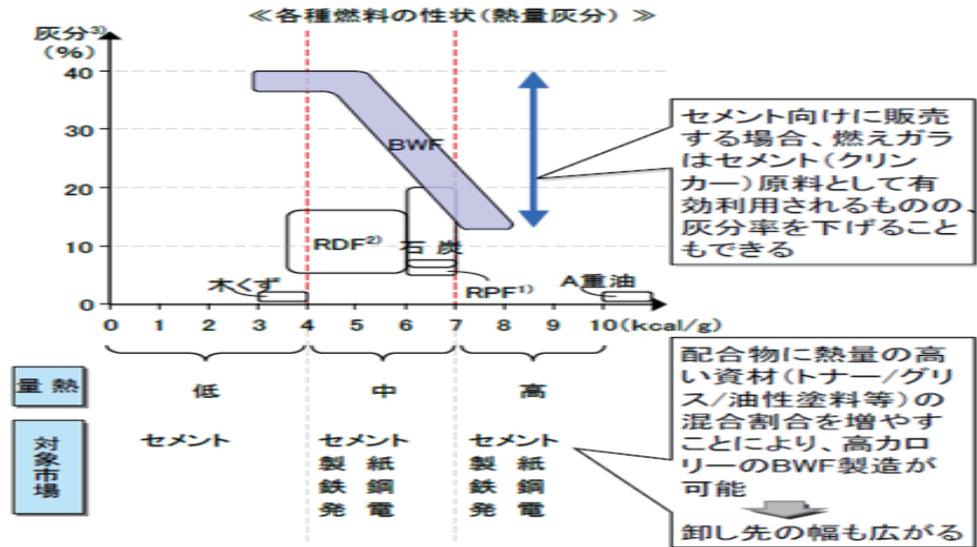
1. 技術の名称	再生固形燃料(Biomass Waste Fuel : BWF)製造技術
2. 技術の内容	リサイクルが困難とされ、単純焼却されていた油性廃棄物(廃インク・廃塗料等)を完全リサイクル処理し、特許取得の独自処理システムにより、石炭代替燃料となる BWF 製造技術(特許第 5078628 号)
3. 技術の概要	<p>【技術の目的・用途】</p> <p>従来焼却しか処理できない油性廃棄物を当社独自の処理方法と施設により、石炭より高い燃焼効率の BWF に生まれ変わらせることで、多種多様な廃棄物の再資源化の推進を実施し環境負荷の低減に貢献する。特に現在セメント工場向けの BWF については、焼却施設から出る燃えがらや油水分離施設等から出る油泥等もその原材料として活用でき、完全リサイクルを達成できている。但し通常の石炭使用に伴う設備を設置した適正燃焼施設での利用が前提となる。</p> <p>また本件 BWF 製造プロセスにおいても、油性廃棄物を取り扱うため、事前にサンプル検査を施し、その内容を十二分に確認した上で（特に有害性「重金属汚染等」のある物はいれない）、受け入れる体制をとり、また適正処理の過程でも、特に火災等に危険についても窒素発生装置や通常の倍に相当するスプリンクラーを備えるなど、安全面の対策を含めて万全の適正処理の体制をとっている。</p> <p>■ 固形燃料製造概略</p> <p>技術の目的・用途、技術の特長、実績、価格</p> <p>【技術の特長】</p> <p>① ジクロスシステム(ジクロスミキサーを用いて木くず及び繊維くず等を核とし、粘性油性廃棄物との混合物を中間層として表面には汚泥等混合物をコーティングした 3 層構造を持つ BWF を製造するシステム)を活用し、異なる多種多様な混合物の均一な加工を短時間で実現した。</p>



< 単体BWFの三層構造 >



② 当社の技術ノウハウによって、お客様のニーズにあわせ、性状(成分・灰分率)や形状(固形・粉状)をカスタマイズすることや、カロリー調整することができる。



- 1) RDF は廃プラスチック固形燃料。古紙やポリエチレンなどのプラスチックから作られるリサイクル固形燃料
- 2) RDF は廃棄物固形燃料。家庭で捨てられる生ごみやプラスチックごみ等の廃棄物を固形燃料化したもの
- 3) 灰分は試料中に含まれる不燃焼性物質（燃え殻）の総量

③ 廃棄物を原料としているため、安価で、BWF を代替燃料とすることで、石化燃料の使用量が減り CO₂削減に貢献する。

【実績】：処理能力 500 m³/日 製造能力 15,000 m³/月

：スペック 塩素分 2,000pp 以下総熱量 3,000kcal/kg~8,000kcal/kg

【価格又はその問い合わせ先】

経営企画室・杉本 浩生 電話：+81-47-485-7189 FAX：+81-47-482-7090

4. 技術の分類	
①用途分類	都市ごみ処理、産業系廃棄物処理、リサイクル
②対象廃棄物	紙・段ボール、廃プラスチック、廃油、その他(木くず、繊維くず、鉱さい、汚泥等)
③提供役務	プラント建設、廃棄物処理サービス、技術提携・供与、コンサルティング、調査・データ処理
5. 本技術に関するサービス提供が可能な国	アジア諸国、北米及び中南米諸国
6. 検索キーワード	リサイクル、固形燃料、油性廃棄物、廃油、廃プラスチック、動物性残渣、木くず、繊維くず、紙くず、燃え殻、鉱さい、ばいじん、汚泥、再資源化
7. 問合先窓口・担当者	株式会社東亜オイル興業所 経営企画室・杉本浩生 電話：+81-47-485-7189 FAX：+81-47-482-7090